

平成 28 年度 東北大学『軽水炉安全セミナー』

日程：平成 28 年 9 月 14 日（水）8:50 ～9 月 17 日（土）16:10

会場：東北大学 青葉山キャンパス
工学研究科 量子エネルギー工学専攻 大講義室

開講趣旨：

2011年3月の福島第一原子力発電所事故を契機として、原子力エネルギーの利用について様々な視点、立場からの議論が続いています。どのような立場に立った場合でも、最重要かつ不可欠な要素は、最も高度な安全性です。我が国のエネルギー・セキュリティ、温室効果ガス削減、経済性の観点からは、エネルギーの長期的安定供給に果たす原子力のポテンシャルは依然として大きく、軽水炉による原子力発電を継続して利用していくためには、福島第一原子力発電所の廃止措置を確実に実施するとともに、並行して軽水炉の長期的な信頼性、安全性の確保とその絶え間ない向上が必須です。

東北大学は「東日本大震災からの復興・新生の先導」を全学ビジョンとして掲げ、その実現のために「福島第一原子力発電所の廃止措置への貢献」を最重要課題の一つとしています。廃止措置を安全に遂行するためには、原子力発電所の安全設計や安全管理、設備管理などの基礎/基盤的事項はもちろんのこと、福島第一発電所の現状や過去の炉心損傷事故、今後必要とされる廃止措置技術などに関する深い理解が必要です。本学セミナーでは、リスク評価・管理の基礎や原子力発電所の安全管理、過酷事故対策、通常炉の廃止措置などのほか、福島第一発電所の現状、過去の炉心損傷事故の教訓、廃炉研究の現状と課題、技術開発課題に対する各種の取り組みなどについて講義します。加えて、廃止措置時の鋼構造物健全性確保における腐食劣化評価の考え方や燃料デブリの基礎と処理・処分などの学術的な基盤の現状について講義します。

講師陣は、東北大学の原子力工学分野の教員その他、東京電力(株)、東北電力(株)、日本原子力発電(株)、原子力損害賠償・廃炉等支援機構、国際廃炉研究開発機構、(独)日本原子力研究開発機構、(株)東芝、原子力デコミッションング研究会からキーパーソンを講師に迎えて密度の高い講義を提供します。電気事業者、発電設備メーカー、関係研究機関の技術者、研究者はもとより、行政機関等で原子力安全に携わる方々にも有益な内容となっています。是非ご参加下さい。

平成 28 年度 『軽水炉安全セミナー』スケジュール（案）

	9月14日（水）	9月15日（木）	9月16日（金）	9月17日（土）
	8:50 - 9:05 開講趣旨説明 (東北大学：渡邊 豊)			
1 限 (8:50-10:20)	9:05 - 10:35 リスクの概念と リスク評価・管理の基礎 (東北大学：高橋 信)	原子炉廃止措置への取り組み状況 (東海発電所の現場工事経験を踏まえて) (原電：山内豊明)	腐食に及ぼす放射線影響 (JAEA：佐藤智徳)	原子力発電所の廃止措置における 遠隔技術の役割と適用技術 (東北大学：昆陽雅司)
2 限 (10:30-12:00)	10:45 - 12:15 原子力発電所の概要と 安全管理、設備管理の考え方 (東北大学：青木孝行)	福島第一原子力発電所の 現状と今後の展望 (東京電力：齊藤慎二)	損傷したコンクリート構造物の 長期健全性評価の考え方 (東北大学：前田匡樹)	廃炉作業に伴うロボット技 術の開発と現場適用の状況 (東芝：露木 陽)
3 限 (13:00-14:30)	13:15 - 14:45 我国におけるシビアアクシデント 対策の歴史と新規制基準要求 (東北電力：佐藤大輔)	福島第一の廃炉のための 技術戦略プラン (NDF 宮本拓人) ----- 福島第一の廃炉研究開発の 現状と課題 (IRID：桑原浩久)	TMI 及びチェルノブイリの経験から 学ぶもの、福島へ反映できるもの (東北大学名誉教授：若林利男)	燃料デブリの特性把握と 処置について (JAEA：鷲谷忠博)
4 限 (14:40- 16:10)	14:55 - 16:25 我国の原子炉廃止措置の現状と 重要施策のポイント (原子力デブリ研究会 佐藤忠道)	鋼構造物健全性確保における 腐食劣化評価の重要性と考え方 (東北大学：渡邊 豊)	燃料の固体化学と燃料デブリの基礎 (東北大学：佐藤修彰)	放射性廃棄物の処分 (東北大学：新堀雄一)

NDF：原子力損害賠償・廃炉等支援機構

IRID：国際廃炉研究開発機構

JAEA：日本原子力研究開発機構

リカレント教育講座受講申込書

講 座 名	軽水炉安全セミナー	
氏 名 (年齢)	(ふりがな) _____ _____ (____才)	
住 所	〒 _____ _____ _____ TEL : (____) _____ E-mail : _____ ※各種連絡に必要ですので、E-mail アドレスは必ず記入してください。	
最 終 学 歴	<input type="checkbox"/> 高校卒 <input type="checkbox"/> 高専卒 <input type="checkbox"/> 大学卒 <input type="checkbox"/> 大学院修士修了 <input type="checkbox"/> 大学院博士修了 <input type="checkbox"/> その他 (_____) ※該当する□にチェックしてください。 昭和・平成 ____年 ____月 : _____ 大学 (大学院) _____ 学部・研究科 _____ 学科・専攻 卒業・修了 ※差し支えなければ大学名等を記入してください。	
勤 務 先	勤務先の名称 : _____ 〒 _____ _____ _____ TEL : (____) _____ E-mail : _____ ※各種連絡に必要ですので、E-mail アドレスは必ず記入してください。	
	※受付年月日 (記入不要)	受 付 : 平成 ____年 ____月 ____日